

擧

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和5年 7月14日(金) Vol.15

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

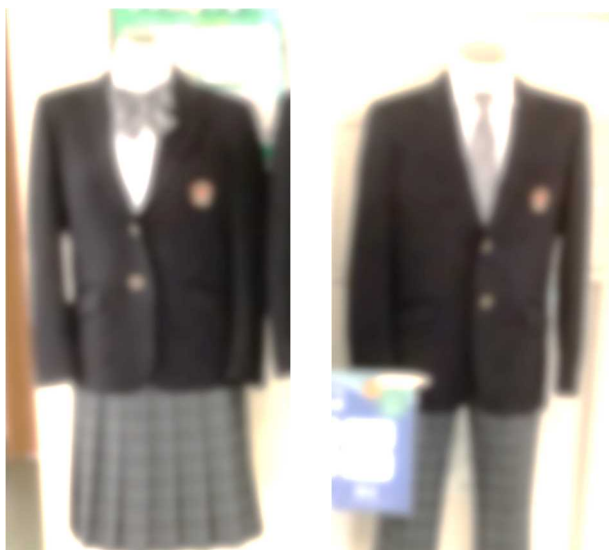
「仲間も、自分も、大切にしよう」

「あきらめずに、取り組もう」



【ホームページへ】

新しい年に、新しい制服



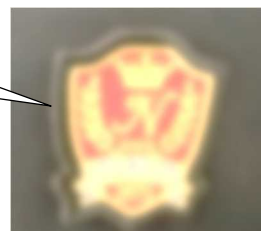
【男女同一の型の濃紺のブレザーに、スラックス・スカートは明るいグレーのチェック柄】



【グレーのチェックに、グリーンの差し色が入った、ネクタイとリボン。クリップ上の金具で襟元に挟み込むタイプです】

〇〇さんが考えたデザインです！

令和6年度新入生から、この制服が導入されます。改定にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



【朱色地に金の刺繍で、N、王冠、月桂冠をあしらった気品のあるデザイン。下部の帯には「NAKADAI」その下には「1973」の文字】

便利なネット・危険なネット

6月30日(金)、「情報モラル教室」が開催されました。多くの子どもたちが、スマートフォンなどの情報端末を手にする昨今、その手軽さ故に、モラル（道徳）に反してしまう事案が、後を絶ちません。

「便利」「簡単」「手軽」だからこそ、その裏側にある危険性を理解する必要がありますね。

講話では、例えば、次のような話題が取り上げられました。



【家庭教育学級の一環として、保護者の方にも聞いていただきました】

○SNSに振り回される人

…相手からの『いいね！』や返信を過度に期待したり、相手からのメールなどに、すぐに返信しなくては、と焦ったりする。

○ネット上の情報を鵜呑みにしてしまう人

…偏った発言や書き込みに、安易に賛同したり、自分の得た情報を全て真実と思い込み、無責任に流したりする。

○個人情報、軽はずみに書き込む人

…自分の個人情報や、友人・見ず知らずの人の写真や個人情報を、勝手にウェブ上にアップしてしまう。



【講師の先生は、応接室からリモートでレクチャーをしています】

その他にも、著作権の問題や、SNSで知り合った人に直接会うことのリスクなどにも触れられました。インターネットが普及して、30年近くになると聞きます。今では重要なインフラの一つになっていますが、それを使うのは、結局は個人であり、一人ひとりのモラル、人格、良心、判断力、理性などが重要なのは、言うまでもありません。

「相手の気持ちを考える」とか、「自分がされたらイヤなことは、人にはしない」など、人間関係をつくる上で大切にされてきた事柄は、ネットが普及する前から、本質的に変わらないはずで

夏休みが目前に迫っています。家庭学習、生活習慣の維持、家の手伝いの励行などに加えて、「情報モラル」を守ることも、家庭内で話し合い、ルールや約束を決めていただくとよい、と考えます。

ちなみに、本校では「**9ストップ・10オフ**」を呼びかけています。これは、携帯端末の利用を、「午後9時にはストップし、午後10時には電源をオフ」にすることで、けじめをつけ、規則正しい生活習慣を身に付けることをねらいとしています。（ちょっと気分転換のつもりで、動画を見たりゲームをしたりしていると、あっという間に時間が過ぎ去ってしまうのは、大人も子どもも同じですね。）

調べたり、整理したり、参考資料を集めたり、息抜きに好きな動画や音楽を試聴したり…学び、楽しむためのものとして、トラブルに関わることなく、有意義に活用してほしい、と切に願います。

プール、はじめました！

6月28日(水)から、今年度の水泳学習が始まりました。最初に入ったのは、1年生の男子(写真)。中学校の水泳の授業は、着替えも含めて50分間なので、泳ぐ時間を少しでも長く確保するのが、最大のポイントです。授業が終わったら急いで着替え、プールに行き、しっかり泳いで、またすぐ着替えて次の授業へ。

水が冷たくて、気持ちよさそうです。生徒たちは、バディを組んで、互いの存在を確認しながら、時に真剣に、時に楽しそうに取り組んでいました。

ここで一句。夏休み ネットもいいけど プールもね



【「流れるプール」をつくるため、水中をぐるぐる歩いて回っています…が、あまり流れなかったようです】

チャレンジ！クッキング

3日(月)、4日(火)、2Aと2Bが調理実習に挑みました。今回のお題は、「ツナコーンスパゲティ」…とは言っても、そんじょそこの調理方法とは、ひと味違います。大量のお湯で茹でるのではなく、パスタを半分に折って、水に3時間ほどつけると…あら不思議。乾麺が水分を吸収して、あたかも茹でたような状態になるのです。仕上げに、水気を飛ばして、ツナやコーンと和えて、味を調べたら、ハイ、できあがり。



【コーン投入！この際だから、どっさりいっちゃいますか】



【火加減も上々。完成は目前です！】



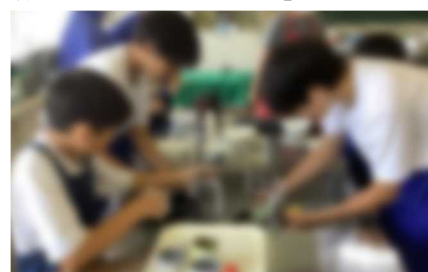
【みんなが期待のまなざしで見守る中、順々に盛り付けていきます】



【「いただきまーす！」という声が聞こえてきそう】



【いつもと違う工程を経てできあがったパスタは、いつもと同じに、おいしかった！】



【洗い物を終えるまでが料理、ですね。みんな協力して、手際よく！】

この調理方法なら、災害の際の避難所など、設備が整っていない中でも、活用することができますね。このような調理方法があるのか…と感心させられました。少々時間はかかりますが、夏休みのお昼ご飯に、いかがでしょうか。

なお、翌週の10日(月)、11日(火)は、鰯を手開きにして、オリーブオイルとニンニクで、さっと焼いていました。手開きには驚いたことですが、何事も体験です。この調理実習をきっかけに、料理の道に目覚める生徒も、いるかもしれませんね。

ここで一句。夏休み ネットもいいけど 料理もね